

## は　じ　め　に

今日、科学技術の目覚ましい進歩と公衆衛生活動の進展により私たちの生活水準は向上し豊かになりました。

一方、輸入食品の安全性、エイズ、肝炎などの新しい感染症、ゴルフ場使用農薬による水質汚濁、酸性雨、あるいは地球温暖化などの地球環境規模の問題が、私達の健康と生活に係わる新たな問題として提起され、地方衛生研究所の業務も複雑多岐となり、技術の高度化、情報の迅速化、最新機器の整備・導入、若手研究員の養成などが求められています。

このような状況の中で、平成3年度はガスクロマトグラフィー質量分析装置の設置等主要機器の整備充実を図るとともに、老朽化がすすんでいた庁舎の改修など業務推進のための環境整備も図ってまいりました。

本所報は、武林前所長のもとで実施された平成2年度の業務の概要をとりまとめましたのでお届けします。ご高覧のうえ、ご批判、ご叱正賜れば幸いです。

県民の健康と生活を守るために、衛生環境行政の科学的・技術的中核として、今後ますます多様化する行政需要、県民ニーズにこたえられるよう研さんに励んで行きたいと思っておりますので、一層のご指導ご鞭撻をお願いします。

平成3年12月

鳥取県衛生研究所

所長　石　田　一　成